

# リバーザー・ステップ 横巾連結

## フラットでなく柔らかな地山取付施工要領

---

1. 設置面に水糸を張り、設置ルートと設置レベルを設定する。
2. 角材 90×90×2000mm、120×90×2000mm のあらかじめ明けてある穴に合うように角杭にも電動ドリル（金工用刃）で穴をあけ、角材と角杭をボルト止めし角材が 3 本平行になるよう布設する。  
\* 90×90 の角材には M10×170L のボルト、真ん中に布設する 120×90 の角材には M10×200L のボルトを使用する。真ん中の角材には左右から交互に角杭をとめ付ける。左右のレベルをよく確認する。
3. 階段本体にあらかじめ明けてある穴に連結板 50×20×200mm を合わせ M8×70L のボルト 2 本で階段本体を横に連結する。
4. ステップ本体の取付は下の段から行い、最初の一段目は斜面角度のプラス 5 度のステップ本体を取り付ける。（\* 地盤傾斜が 45°・50°の場合は 5°傾斜の大きなステップ本体がないため、1 段目を斜面下方向にずらして取り付ける。）ステップ本体同士（1 段目と 2 段目、2 段目と 3 段目…）の固定はコーススレッドかスクリュー釘 65mm を使い、ステップ本体と角材 90×90×2000mm と真ん中の角材 120×90×2000mm はコーススレッドまたはスクリュー釘 90mm 使って固定する。  
スクリュー釘は打ち込みにくいいため、電気ドリルで深さ 10～15mm 程度の下穴を明けてから打ち込む。入りづらい場合はコーススレッドビスを使用する。
5. 階段 1 段目にコーススレッドまたはスクリュー釘 90mm を使い、止め杭を設置する。
6. ステップ本体 2 段目からは傾斜角度用の物を必要な段数分、上記要領にて順次取り付けていく。
7. のり面を斜行する等で、左右方向にも高低差が出る場合、谷側の角杭の本数や長さを変える必要があります。